

Library News

Information & Knowledge

No. 51 Nov. 2001

図書館だより

CONTENTS

	ページ
巻頭言：ヴィゴツキーは踊る （看護学科 柳原真知子）	1
学習室がいつでも利用できます。	2
グループ学習室（大学習室）が増えました。	2
新教官閲覧室ができました。	3
年末年始の休館について	3
電動書架増設に伴う製本雑誌の利用制限について	3
JOISの医学データベースのトライアル	4
Wiley社InterScienceトライアルの開始	4
椅子が新しくなりました	5
本学教官等寄贈図書	5
新着図書案内	6
編集後記	

ヴィゴツキーは踊る

看護学科 柳原真知子

ヴィゴツキーという名前を聞いても、よほどおたくな人でないとわからないかもしれません。ピアジェは誰でもご存知と思うが、彼と並ぶあるいは理論的には彼を凌駕するソ連の心理学者です。しかし、ヴィゴツキーの生まれた時代と場所が不運というのか、ソ連のスターリン主義時代に、コスモポリタンのであるという理由で彼の本は発禁となり、彼も34歳の若さで逝去してしまいました。

このヴィゴツキーで学部の卒論や修士論文を書きましたが、これは“茨の道(?)”でした。彼の本のほとんどは絶版。再版されないのは買う人がいないという証明か。また、東京の有名私立大学の某大学院の面接では、日本を代表する教育学者から「ヴィゴツキーは古い、これからは新ヴィゴツキーだ」と言われ、奈落の谷に落ちていきました。しかし、後にその教育学者に新ヴィゴツキーの研究者を問うたところ、あいまいな返答しか返ってきませんでした。

それから、1年後J.ワーチというアメリカの心理学者の訳本が出版されたのを本屋で見つけ身体が打ち震える喜びを感じました。彼は、ヴィゴツキー理論を評価すると共に新たな視点からヴィゴツキー理論を論じていました。この本を合図にするように、新ヴィゴツキー主義と言われる人々の文献が次々と手にすることができたのです。そして、新ヴィゴツキー主義は、近代の科学万能主義への反省的な視点となりアメリカの心理学や教育学そして看護学に対しても大きな影響を与えていました。

しかし、新ヴィゴツキー主義の研究者の文献を読むと、研究者の理論とヴィゴツキーの理論が渾然一体となっていました。恐らく、“伝統的なヴィゴツキー理論”がわかっていないと見抜けないかもしれません。その識別ができるのも鈍くさくヴィゴツキーの難解な著書を何度も読んできた成果かもしれません。

1つのテーマを抱えて何年も研究するのは山あり谷ありです。出口が見えない時テーマを変えようかと思う。そんな時、大学院の先輩が“研究は決して楽でない。だからこそ、やりたいと思うテーマでやれ！”この一言が今日の私を支えてきました。また、日本の数少ないヴィゴツキー研究者である中村和夫先生は、突然押しかけた無頼漢の私にたくさんの資料やコメントを下さったのです。その後出会うことのできたヴィゴツキー研究者の方々も誠意ある方たちで、研究者としてのあり方を学ばせていただきました。

つたない「ヴィゴツキー研究者(?)」の私に、アメリカのヴィゴツキー理論による幼児教育についての翻訳の仕事を田島信元先生からいただきましたが、ヴィゴツキーの『思考と言語』をはじめとして、彼の本は難解でした。これは翻訳のあり方にも関係しているかと思い(翻訳者柴田義松先生失礼)、なるべくわかりやすく訳そうとしましたが、趣旨をまげずに翻訳するにはかなりの能力がいることを知りました。柴田先生のご苦勞を思う。関心のある方は、図書館に寄贈してありますのでご覧ください(L.E.パーク他、ヴィゴツキーの新・幼児教育法、北大路出版、2001年10月)。

それにしても、揺れ動くヴィゴツキーの評価。ソ連は崩壊しロシアになり、うち続く世界情勢の変化の中で、ヴィゴツキーはお墓の中で苦笑していることでしょう。

学習室（グループ学習室）がいつでも利用できます。

特別利用時間帯でも学習室の利用ができるようになりました。

利用にあたっては必ず予約が必要です。当分は試行期間とします。利用マナーが悪い場合、利用を止めることもあります。職員のいる開館時間帯の利用は従来どおりですが、特別利用時間帯（平日20時以降、土曜13時以降、日曜・祝日）は以下のとおりです。

- 利用できる人 : 特別利用の許可を受けた人
2名以上のグループ
- 予約方法 : 申込みは2日前からカウンターで受付けるが、当日空いていけば手続きを行うことで利用できる。
- 利用時間 : 1グループ1回6時間以内。終了時間となっても他に予約が入っていなければ再度予約して利用できる。
- 取り消し : 予約時間となっても1時間以上利用がない場合は、予約を取消したのものとして他のグループの予約を認める。
- 実際の利用方法 : 予約簿が学習室前に置いてあるので、利用できる時間・学習室番号を確認して利用する。
室内に掲示してある「学習室利用上の注意」を読んで、間違いないように利用する。
特別利用時間帯に置いてある「利用簿」は必ず記入する。
- 当日予約方法 : 予約簿を見て空いている場合、予約をしてから利用する。
- 問合せ先 : 開館中にカウンターまで。
開館時間 平日9時～20時 土曜日9時～13時

グループ学習室（大学習室）が増えました。

図書館では、旧教官閲覧室を「大学習室」としてグループ学習に使っていただくことにしました。第1から3までの学習室はせいぜい1室6名ほどの大きさでしたが、この部屋は10人まで利用できます。またインターネットに接続したパソコンも設置してあります。ご相談いただければ、ビデオの上映も可能です。

試験期だけでなく、スモールクラスでの学習や、ビデオ学習会などにもドンドンお使いください。

利用時間・申し込み方法は他の学習室と同じです。

新教官閲覧室ができました。

従来の教官閲覧室を学習室に転用したことに伴って、視聴覚室左隣の小部屋を教官閲覧室としてご利用いただくことにしました。利用は当面大学院生以上の方を対象とします。閲覧機のほか、テレビやパソコンを設置してあります。カウンターでお申込みください。



年末年始の休館について

今年は12月26日(水)の20時で閉館になります。

新年は1月7日(月)から開館します。

閉館期間も特別利用(カードでの入退館)はできます。

また、年末年始の文献複写依頼については、開館中は受付けていますが、年内に入手したいものはお早めにお願ひします。なお、国立情報学研究所(NII)のサービス休止があった場合は、受付期間を変更しますので、情報入手次第、電子掲示板にてお知らせします。

休館：平成13年12月27日(木)～平成14年1月6日(日)

電動書架増設に伴う製本雑誌の利用制限について

図書館では、雑誌架のスペースがなくなってきましたので、電動集密書架を第1閲覧室に設置する予定で、現在会計手続きを行っています。

工事は1月を予定していますが、現在ある雑誌の箱詰移動等を行う必要がありますので、しばらくの間雑誌の閲覧ができない事があります。特に和雑誌の1985年以前のものについては、手順上1か月ほど利用できない場合がありますので、ご留意願ひします。詳しい日程がきまりましたら、電子掲示板等でお知らせします。

JOISの医学データベースのトライアル

図書館では医学データベースの検索ができる科学技術振興事業団（JST）の「Enjoy JOIS」のトライアルを始めました。期間は2002年3月末までです。このシステムでは、国内の医学文献情報（JMEDICINE）1981～を検索できます。

医学中央雑誌との比較では

	JMEDICINE	医中誌Web
収載年度	1981年～	1987年～
収載雑誌数	約5000誌	約2400誌
収載件数	約435万件	約364万件
サービス時間	AM2時-5時が使えない	24時間
抄録 平均	44%	15-20%
抄録 原著論文	100%	75-80%

サービス時間以外の面で医学中央雑誌に勝っているのですが、医学中央雑誌はいち早くCD-ROMでの検索を提供し、使い放題であったのに対し、JMEDICINEは回線接続料、文献出力料などの従量料金制であったので、多くの大学で良いものがあるのが分かっているながら、医中誌検索システムを利用していました。

今年から、病院等医療機関向けに年間料金（医中誌Webより安く）でJMEDICINEほかMEDLINE、医学・薬学予稿集全文データベースの3つのDBが使えるようなパッケージが発売されました。

図書館でもトライアルの状況を見て、来年度の導入について検討したいと考えています。

ご注意

トライアルへは、図書館のホームページのトップページから入ることができます。医学・薬学予稿集全文データベースはアドレスが違いますのでご注意ください。システム上料金が表示されますが、無視してください。

Wiley社InterScienceトライアルの開始

Wiley社が提供する電子ジャーナル（11月16日現在390誌）を利用することができます。

なお、本学はInterScience EAL(Enhanced Access License) コンソーシアムに参加することになっていきますので、トライアル終了後来年度も引き続き利用できる予定です。

椅子が新しくなりました

第3閲覧室の大机の椅子48脚が新しくなりました。開館以来使用してきた椅子の老朽化が目立ち、使用中に壊れたりしたため、館内の椅子を点検し古いものを廃棄しました。図書館では、これからも予算要求して、順次取りかえる予定です。

本学教官等著作寄贈図書

(平成12年7月～平成13年10月受入分)

御惠贈ありがとうございます。図書館の蔵書として広く利用に供させていただきます。

- ・ 山縣 然太郎 (保健学II講座)
 図説国民衛生の動向 1999、2000
 厚生統計協会 2000.6-10

小さな赤ちゃん：小さく生まれた赤ちゃんを育てるために
 厚生省児童家庭局母子保健課 2000.2 (検討委員会委員)

ふたごの育児：ふたご・みつごの赤ちゃんを育てるために
 厚生省児童家庭局母子保健課 2000.3 (検討委員会委員)

人間と情報 / 山梨大学公開講座「人間と情報」編集委員会編
 山梨日日新聞社 2000.4 (分担執筆)

- ・ 田村 康二 (内科学講座第2教室)
 ガンは夜中に進行する / 田村康二著
 光文社 1998.2

外来診療のすべて / 水野美邦ほか編集
 診断と治療社 1997.3 (分担執筆)

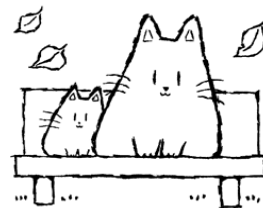
- ・ 中村 美知子 (臨床看護学講座)
 わかりやすい栄養学 / 中村美知子、長谷川恭子編集
 廣川書店 2000.11

- ・ 柳原 真知子 (臨床看護学講座)
 ヴィゴツキーの新・幼児教育法 / L.E. バーク、A. ウインスラー著
 北大路書房 2001.10 (2章翻訳)

編集後記

コンピュータ2000年問題で、年末に大学で待機していたことが、もう2年前になろうとしていることが嘘のように早く時間が過ぎて行きます。確かに便利に早くはなっていますが、追われるようにコンピュータを使って日々仕事をしていると、ふとノンビリと縁側などであくびをしたり、丸くなってほのぼのと昼寝をしている猫になりたいとか、山の中で太陽の光線に眩しく光っている木々の緑の下で、せせらぎのやさしい水音を聞く鳥になりたいとか、人の少ない浜辺の静かに打ち寄せる波打ち際を無邪気に子犬と戯れたりしながらゆっくりと散歩したいとか、そこで捕れる美味しい干物でも焼いて食べたいとか、ドライな世界からちょっと離れたと思うのは私だけでしょうか。ネットワークの接続ができない不調な瞬間、そんなことを思いながらキーボードに向かっていきます。

(Y. K.)



編集 / 発行 山梨医科大学附属図書館

<TEL> 直通 273-9353 情報管理係 内2108

図書課長 内2106 情報サービス係 内2109

総務係 内2107 カウンター 内2110

<URL> <http://www.yamanashi-med.ac.jp/~tosho/home.html>